

# 第 40 回東海外来小児科学研究会のご案内

謹啓 時下、先生方におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、この度下記の要領にて第 40 回東海外来小児科学研究会を開催します。今年は昨年同様に参加者の皆様はワクチン接種を済ませていると考え、必要な感染対策を行いながら対面にて開催したいと思っています。オンラインではなく、リアルだからこそその研究会にしたいと世話人一同準備をおこなっています。今回は午前の部に一般演題、午後は3つのワークショップを企画しました。それぞれ異なったジャンルですが日常診療で役に立つ内容と思われると思います。医療関係者であれば参加の制限はありませんので、多数のご参加をお待ちしております。 敬白

## 【開催要綱】

日時：令和 4 年 1 1 月 23 日（水・祝）

会場：愛知県産業労働センター ウィンクあいち

〒450-0002

愛知県名古屋市中村区名駅 4 丁目 4-38

TEL: 052-571-6131

FAX: 052-571-6132 <http://www.winc-aichi.jp/>



## <プログラム>

【午前の部】 9 時 3 0 分～ 1 1 時 3 0 分 : 一般演題

1 2 時 0 0 分～ 1 3 時 0 0 分 : ランチョンセミナー

「食物アレルギー最新情報：ナッツ類や果物、魚アレルギーの対応法（仮題）」

（演者：藤田医科大学ばんだね病院小児科教授 近藤康人先生）

【午後の部】 1 3 時 3 0 分～ 1 6 時 3 0 分 （1 3 時開場）

WS1 新型コロナウイルス感染症を総括する

WS2 多職種連携から考える小児肥満症へのアプローチ

WS3 クリニックの大切な情報、保護者に届いてる？



申し込みフォーム

1. 参加希望の方は下記申し込みフォームより事前登録を行ってください。

<https://forms.gle/e8Yp7yqPAEwMLghZ6> WS は申し込み状況に応じて調整します。

WS 参加の可否が確定後、参加費の支払い URL を連絡します。

2. 参加費は、医師の方は 3000 円（弁当付）、医師以外の方は 2000 円（弁当付）となります。

（日本外来小児科学会会員はそれぞれ 500 円割引となります）

3. 当日参加も受け付けますが、お弁当は準備いたしませんのでご了承ください。

4. 小児科専門医制度の認定単位はありません。

5. 今回の研究会に参加されない方も、上記フォームよりアンケートへのご協力をお願いします。

## 第40回東海外来小児科学研究会 一般演題

発表7分 質疑応答5分

座長：村木敬行・和田映子

9:30～10:18

第1演題 母乳栄養児の鉄欠乏と補完食指導

棚橋順子 鶴田恵子 村瀬貴代子 土屋千枝

川井進 / 川井小児科クリニック

仲佳代 上田由美/認定NPO 法人アレルギー支援ネットワーク

第2演題 母乳栄養児のビタミンD不足と補完食指導

鶴田恵子 村瀬喜代子 土屋千枝 川井進 / 川井小児科クリニック

仲佳代 上田由美 / 認定NPO 法人アレルギー支援ネットワーク

第3演題 現代っ子はミネラル不足か?

日比将人 谷口 梢、高津章子 / オーシャンキッズクリニック

第4演題 コロナによる中学生メンタルヘルスへの影響 —10年間の縦断的調査から—

梅本正和 / うめもとこどもクリニック

大橋浩 / 三重病院小児科

駒田幹彦 / 駒田医院

10:40～11:28

第5演題 小児アレルギー外来における皮膚テスト (skin prick testing : SPT)の活用

高尾亜衣・正木伶奈・舟木里佳・徳田玲子 / 徳田ファミリークリニック 小児科・アレルギー科

第6演題 キノコバエアレルギーの 抗原解析

高田聡 / たかだアレルギーとこどものクリニック

松井照明 1)、川邊智史 2)、佐藤奈由 2,3)、中村政志 2,3)、

松永佳世子 2,3)

1.あいち小児保健医療総合センター

2.ホーユー株式会社 総合研究所

3.藤田医科大学医学部アレルギー疾患対策医療学講座

第7演題 感染症サーベイランスからみたムンプス・DPT ワクチンの追加接種の有効性の検討と

ワクチンリテラシー (感染症と予防接種教育)

落合 仁 / 落合小児科医院

第8演題 便秘症に対するガストログラフィン注腸の有用性

矢嶋茂裕 / 矢嶋小児科小児循環器クリニック

## WS1 新型コロナウイルス感染症を総括する

(医師、看護師、保育士、医療事務など職種によってグループを作る予定です)

リーダー : 矢嶋茂裕 (医、矢嶋小児科小児循環器クリニック、岐阜県岐阜市)

サブリーダー : 副島小波 (ひだかこどもクリニック、医療事務、愛知県東浦町)

福岡 香 (白子クリニック、保育士、三重県鈴鹿市)

新型コロナは登場から約3年、総括には時期尚早かもしれませんが、診断、治療、予防なども一段落し、報告や隔離期間などが変わりつつあるこの時期に一度、総括する価値はあると考え企画しました。テーマが膨大で職種もそれぞれの思いもあると考え、医師、看護師、事務、保育士(病児保育)などに分けて議論できる場を作りたいと思います。

感染対策では医院の構造、特に受付の仕切りやスタッフの装備。診察では通常診察をどこまで許容するか、検体採取の方法。看護師は処置の介助、検査への対応、病児保育では受け入れをどこまでにするか、検査を前提とするかなど、施設ごとの考え、対応も異なると思います。また、第7波では小児科に集中した患者さんを効率よく診察するための工夫なども情報交換できるといいでしょう。是非、多職種でご参加ください。

## WS2 多職種連携から考える小児肥満症のアプローチ

～いつから介入する～

リーダー : 貝沼圭吾 (三重県: 貝沼内科小児科)

指定発言 : 青山裕一; 貝沼内科小児科管理栄養士

山口明日香; 国立病院機構三重病院臨床心理士

他: 養護教諭1名(現在選定中)

小児肥満症は、2000年以降、徐々に減少傾向にあるものの、小学校高学年では1割前後の割合で肥満傾向児が認められ、高頻度の疾患である。各種学校では、定期的に身体測定が行われ、肥満傾向にある児童に対しての受診勧奨も行われている。この中で、教育現場では、肥満症による受診勧奨をする事への抵抗感や、養育者が受診につなげないといった現状も生じている。また、高度肥満児においては、個人の心理精神面の特性や社会的な環境の問題から、栄養や運動指導だけでは行動変容につながらないことも多い。本WSでは、こうした小児肥満症診療に対して、これまでの事例を通じて、診療側と教育側からの意見を出し合い、より良い受診行動につなげるためのヒントを見つけていきたい。

### **WS3：クリニックの大切な情報、保護者に届いてる？**

#### **～コロナ禍の最強発信ツールをみんなで考えよう！～**

リーダー： 鈴木 研史（愛知県：竜美ヶ丘小児科）

サブリーダー：野村 さちい（つながる ひろがる 子どもの救急）

参加対象：看護師、事務スタッフ

様々なSNSが保護者の間での通常の情報交流ツールになってきています。クリニックは、日常の診療や健診だけでなく、子育てに関連する情報など伝えたい情報が多岐にわたり、コロナ禍で診療体制の変更による受付や予約方法の変更、診療後の処方箋や薬の受け渡し、留意点などなど伝えたい情報、必ず目を通してほしい情報はさらに増えています。その中で、それぞれの診療所で試行錯誤されて、良かったこと、悪かったこと、他のクリニックはこういうときどうしているの？などの様々な思いを、ここでみんなで語って、ベストの方法を考えてみませんか？クリニックの看護師、事務スタッフの方、一緒に楽しく学んでみましょう。

東海外来小児科学研究会世話人

愛知県

日高啓量

近藤康人

佐野洋史

鈴木研史

日比将人

和田映子

岐阜県

矢嶋茂裕

浅井俊行

村木敬行

蜂谷明子

三重県 (担当県)

近藤 久 (代表)

落合 仁

梅本正和

玉垣浩美

上荷裕広

貝沼圭吾

徳田玲子

主催 東海外来小児科学研究会